

新会長就任のごあいさつ

社会福祉法人 久留米市社会福祉協議会

会長 萩原重信



このたび6月25日付で久留米市社会福祉協議会の会長に就任いたしました萩原重信でございます。

川地東洋男前会長をはじめ、歴代会長及び役員の

方々が営々と築いてこられました「こころ あふれる支え合いのまち くるめ」に思いをいたし、あらためて、会長という重責に、身の引き締まる思いであります。もとより微力ではございますが、地域福祉の充実と発展のため誠心誠意努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今日、少子高齢化の進展

や家族機能の低下、地域のつながりの希薄化が進むとともに、社会的孤立、子どもの貧困等が社会問題になるなど、地域社会を取り巻く環境は大きく変化しています。

また、これまでの社会福祉の公的枠組みだけでは対応しきれない様々な地域課題が顕在化してきています。時代の不透明さに加え、災害も頻発する状況にあつて、住民同士の「つながり」や「絆」の大切さが再認識され、今後、「地域の福祉力」の向上が益々求められてきます。本会も地域福祉の中核的担い手として、寄せられる期待に応えるべく、久留米市や関

係団体と連携し、地域における新たな支え合いの仕組みづくりを進めていかなければならないと思っています。

こうした認識の下、本会では地域福祉活動を確実かつ効果的に行うための「第6次地域福祉活動計画」の策定に着手しております。この計画策定において、多くの関係団体や地域の方々の参画をいただいて、共に支え合い、課題を解決することのできる地域づくりを進めて参る所存です。あわせて、本会の目指すべき将来像を示す「中期経営計画」の策定にも取り組みます。この計画によ

り、持続的、安定的な事業運営と経営管理体制の強化を図るとともに、地域や関係団体の皆様と目指すべき方向を共有しながら、地域との協働の強化に努めます。

今後、本会におきましては、一人ひとりが尊重され、生きる幸せを実感できる福祉のまちの実現を目指し、役職員一丸となり、精一杯の努力を重ねてまいります。

市民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。会長就任のごあいさついたします。

久留米市社会福祉協議会

平成30年度事業報告

平成30年度の主な取組と

決算状況をお知らせします。

地域福祉活動の推進

●市内46校区に9人のコーディネーターを配置し、学習会への支援や地域の生活課題の発見、解決に

向けた取り組みを校区コミュニティ組織と協働で行いました。

●いきいきサロン（地域の人が定期的に集まる居場所）を活性化するため、サロン支援ボランティアの



いきいきサロン

養成等を図りました。また、新たに73ヶ所のサロンが誕生し、市内総数は339ヶ所となりました。

平成30年度 決算報告

支出の内訳

